

## 保証書

**O<sub>2</sub>トーチ** OT-3000

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店にご依頼いただき、修理に際して本書をご提示ください。  
お買上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと、無効となります。必ずご確認ください。記入のない場合は、お買上げの販売店にお申し出ください。  
本書は、再発行いたしません。大切に保管して下さい。

### ＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で、保証期間内で、製造上の原因に基づく故障の場合には、無料で修理・調整いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
  - イ. 本書のご提示がない場合。
  - ロ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、又は字句を書き換えられた場合。
  - ハ. 使用上の誤り、又は不当な修理や改造による故障、損傷の場合。
3. 修理の際はお買上げ販売店にお持ち下さい。
4. ノズル等の消耗品については、保証の対象とはなりません。

|              |       |            |     |
|--------------|-------|------------|-----|
| お客様          | ご住所   | 電話         | ( ) |
|              | お名前   |            |     |
| 販売店名・住所・電話番号 | お買上げ日 | 年          | 月 日 |
|              | 保証期間  | お買上げ日より1ヶ年 |     |

※改良のため仕様を予告なしに変更する事がありますのでご了承ください。

製造発売元



**新富士バーナー株式会社**

本社工場 〒441-0314 愛知県宝飯郡御津町御幸浜1号地1-3 TEL(0533)75-5000(FAX)(0533)75-5033

## 取扱説明書

小型酸素溶接バーナー

**O<sub>2</sub>トーチ** OT-3000

生産物賠償責任保険付

このたびは、新富士「O<sub>2</sub>トーチ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本機を正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。



**新富士バーナー株式会社**

## 各部の名称



### 標準セット品

- 本体：1
- ペントーチ(ツインチューブ付)：1
- スタンド：1
- ノズル：1、2、3番各1
- O<sub>2</sub>カートリッジボンベ(酸素)：2
- LPGカートリッジボンベ(液化ブタンガス)：1

## 1 ご使用前の準備

1. ペントーチのツインチューブを本体のコネクター(2箇所)へ取付けます。  
青いチューブはO<sub>2</sub>ハンドル側(青)へ、赤いチューブはLPGハンドル側(赤)へ、コネクターのリング(樹脂)の部分を押す様にしながらさし込みます。  
ツインチューブをさし込んだ後、チューブを軽くひっぱり、チューブが抜けてこないことを確認して下さい。
2. O<sub>2</sub>ハンドル(青)及びLPGハンドル(赤)が完全に締まっていることを確認します。
3. 本体の所定の位置へ、LPGカートリッジボンベ及びO<sub>2</sub>カートリッジボンベをしっかりと止まるまで締め込みます。(右ネジ) (この時、ボンベ取付口はゴミ等の付着がない様にきれいに清掃して下さい。)



### 【ご注意】

- カートリッジボンベの取付位置は、プレートに矢印で表示してあるので、必ず所定の位置へ取付けて下さい。
- O<sub>2</sub>カートリッジボンベの取付位置は2箇所あるので、必ず2箇所とも取付けて下さい。
- カートリッジボンベの締め込みが弱いとガス漏れの原因になります。

## 2 点火及び消火

1. 使用するノズルをペントーチの先端にしっかりと手で締め込みます。
2. ペントーチをスタンドに設置させます。
3. O<sub>2</sub>トーチは、写真の様な状態で使用して下さい。



4. 先ずLPGハンドル(赤)を少し開け(OPENの方向へ)、ライターで点火します。(この時、炎があまり大き過ぎると、酸素を混合させた時に炎が消えてしまいます。)
5. 次に、O<sub>2</sub>ハンドル(青)を少しずつ開け(OPENの方向へ)、徐々に酸素を混合させていきます。



6. 火力を強くしたい場合は、4・5の操作をくり返し行い、LPG及び酸素の量を徐々に増加させて下さい。
7. 消火は必ず先にO<sub>2</sub>ハンドルを閉じ(SHUTの方向へ)、次にLPGハンドルを閉じて下さい。

### △ 注意

- ツインチューブを取り外す際は、片手でチューブを引っ張らずに、両手を使いコネクターのリング(樹脂)の部分を押す様にながらチューブを引き、取り外してください。



### 【ご注意】

- O<sub>2</sub>ハンドルを急激に開けたり、酸素の量が過剰になったりすると、炎を吹き飛ばし消してしまいますので、4・5の作業はゆっくりと行って下さい。(ノズル径の小さいノズル3番は特にゆっくりと少しづつ行って下さい。)
- もしあやまって炎を消してしまった場合は、一度O<sub>2</sub>ハンドル及びLPGハンドルを閉じ、もう一度やり直して下さい。

### 参 考

炎の温度は、酸素の量とLPGの量のバランスにより調節します。

| 酸素量 | 温 度 | 炎 の 色      |
|-----|-----|------------|
| 多   | 高   | 青(白に近い)    |
| 少   | 低   | 赤又は青(紫に近い) |

## 3 カートリッジボンベの取り替え

1. LPGハンドルをいっばいに開けても火が付かない場合は、LPGがありません。  
LPGハンドルを閉じ、LPGカートリッジボンベを交換して下さい。
2. O<sub>2</sub>ハンドルをいっばいに開けても火力が上がらない(炎の色が青白くならない)場合、酸素がありません。  
O<sub>2</sub>ハンドルを閉じ、O<sub>2</sub>カートリッジボンベを交換して下さい。(2本とも) (O<sub>2</sub>圧力計は、圧力計側のO<sub>2</sub>カートリッジボンベの酸素残量の目安になります。反対側のO<sub>2</sub>カートリッジボンベの酸素残量を知りたい時には、圧力計側に付け換えて下さい。)

### 【ご注意】

- O<sub>2</sub>及びLPGカートリッジボンベは、新富士「O<sub>2</sub>トーチ」専用のものを必ずお使い下さい。
- カートリッジボンベの交換は火気のないところで行って下さい。

## 4 故障の発見とその対策

故障かなと思ったら、もう一度ご点検下さい。

| 症 状       | 考えられる原因                                      | 対 策                                |
|-----------|----------------------------------------------|------------------------------------|
| ガスが出ない    | ノズルの先端がゴミ等でふさがっています。                         | 掃除して下さい。                           |
|           | カートリッジボンベの締め込み不足です。                          | もう一度、しっかりと止まるまで締め直して下さい。           |
|           | カートリッジボンベが空です。                               | 新しいカートリッジボンベと交換して下さい。              |
| 火 力 が 弱 い | O <sub>2</sub> 又はLPGカートリッジボンベ内のガスが少なくなっています。 | 使い切ってから新しいカートリッジボンベと交換して下さい。       |
|           | 配管内がゴミ等でふさがっています。                            | ノズルをはずし空吹きして下さい。(火気のないところで行って下さい。) |
| 炎が安定しない   | ノズルの先端にゴミ等が付着しています。                          | 掃除して下さい。                           |
|           | LPG側の配管内に液ガスが混入しています。                        | 消火後、LPGを空吹きして下さい。                  |

上記の手順を行っても、症状が改善されない場合、又は御不明な点がありましたら当社「お客様係」まで御連絡下さい。

※お客様係 TEL(0533)75-5000

## 5 使用上のご注意

- ①取扱説明書をよくお読みの上、ご使用下さい。
  - ②O<sub>2</sub>トーチは炎温度3000℃の高温バーナーですから、やけど、火災など取り扱いには充分注意して下さい。
  - ③炎が本体、カートリッジボンベ、ツインチューブなどにかからない様に注意して下さい。
  - ④O<sub>2</sub>カートリッジボンベ及びLPGカートリッジボンベは、新富士「O<sub>2</sub>トーチ」以外のものには絶対に使用しないで下さい。又、人体には使用しないで下さい。
  - ⑤酸素を使用しますので、油類はいっさい付着させないで下さい。
  - ⑥換気の悪い場所でのご使用の際は、強制的に換気する様、充分に留意して下さい。
  - ⑦着火の時や使用中は、ノズルを絶対に顔や手等の人体や、可燃物に向けないで下さい。
  - ⑧ご使用後は必ず消火を確認の上、カートリッジボンベをすべて取りはずし、40℃以下のお子様の手の届かぬ場所に保管して下さい。
  - ⑨勝手に分解や改造をしたり、当社純正部品以外の部品または付属品を付けて使用しないで下さい。  
当社は、そのような場合に発生した事故または品質保証等の責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承下さいますようお願い申し上げます。
  - ⑩ノズル(1番・2番・3番)は消耗品です。焼損などの場合は別途お買い求め下さい。
  - ⑪ご使用の際、対象物などにノズルを近づけすぎた場合など、高温により、ノズルが溶けて短くなる場合があります。
  - ⑫内炎(内側の白みを帯びた炎)より、10mm以上離してご使用下さい。
  - ⑬ご使用中ノズルが赤くなった場合、酸素を減らすか、ガスを増やしてノズルが赤くならないように調整して下さい。
- ※下記の範囲でご使用下さい。

